

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73008	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)		医学・医療概論 (Outline of Medicine and Healthcare)			
担当教員名		木村 哲 ほか			
授業の概要及び到達目標					
概要 : 8回の講義の内、木村が 5 回担当します。将来、直接あるいは間接的に医療にかかわる皆さんには、是非とも患者さんやそのご家族の人生観・価値観を理解・尊重し、一人一人の患者さんに最適で満足の得られる医療を提供できる人材になってもらいたい。そのために必要な倫理観など基本的事項について学習すると共に、皆で討論する時間を入れ、共に考え共に成長できる授業にしたいと考えています。いくつかの講義の最後に、その日の講義内容から皆で考える課題を提示します。自分の考えを 400 字程度のレポートとして提出して下さい。次の木村の講義の時に主な意見を紹介し討論します。色々な考え方に接し、議論しながら自分の考えを整理して下さい。 到達目標 : 多様な人生観・価値観を受け止める寛容性、医療人に求められる倫理観、ジュネーブ宣言に盛り込まれている精神が身に付いている。患者の権利とリスボン宣言、ヘルシンキ宣言と研究倫理、患者中心の医療、チーム医療、インフォームドコンセントなどが理解できている。					
準 備 学 習 等					
第 1 回 : 医学の歴史について、ヒポクラテス、ナイチンゲール、華岡青洲の業績について調べておいて下さい。 第 2 回 : 世界医師会 (WMA) のジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言について調べておいて下さい (日本医師会のホームページからサイト内検索する)。 第 3 回 : 船橋市の地域包括ケアについて ; 合宿準備も含め、船橋市の現状を調べておいて下さい。 第 4 回 : 遺伝子と病気、ダーウィンの進化論、メンデルの法則などを予習しておいて下さい。 第 5 回 : 船橋市の地域包括ケアについて市のホームページで再確認しておいて下さい。 第 6 回 : 尊厳死とはどのような最期の迎え方なのか調べておいて下さい。 第 7 回 : 船橋市の地域包括ケアの中で、特に医療はどのような役割を果たしているか、第 3 回および第 5 回の授業を振り返っておいて下さい。 第 8 回 : 医療関連感染症予防に求められる標準予防策について予習しておいて下さい。					
成績評価の方法		参加状況 40%、レポート評価 60%、期末試験 なし			

テキスト	教科書は定めていませんが、下記の参考図書を必要に応じ活用すること。 毎回プリントを配布します。将来、就職してから見直したい時があると思いますので、きちんとファイルしておいて下さい。
参考図書	1. 笹山雄一著，人体探求の歴史，築地書館，2013 2. 井部俊子監修，服部健司・伊東隆雄編，医療倫理学のABC（第2版），メヂカルフレンド社，2012 3. 山中伸弥監修，iPS 細胞の世界，日刊工業新聞社，2013
備 考	高校時代までの「教わる授業」から、「考える授業、自ら学ぶ授業」への転換と一緒にチャレンジしてみようではありませんか。討論を通じクラスメートの多様な考え方に接しながら、一緒に考えましょう。 課題に対するフィードバック：8回の授業の内、3回のレポート作成があります。その後の授業の前半に、それぞれレポートに見られた主な意見を紹介し、その考え方について学生同士で討論し、多様な考え方を体験してもらいます。期末試験は行わず、レポートと授業への参加状況で評価します。 オフィス・アワー：月（15:00～17:00）、火（8:30～17:00）、水（14:00～17:00）、金（8:30～16:00）（いずれも五反田キャンパス・オフィス。但し、時々会議等あり）
授 業 計 画	
第 1 回	医学医療の歴史；古代ギリシャ医学、ルネサンス、近代医学（担当教員：木村）
第 2 回	医の倫理について考える；ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、患者の自己決定権（担当教員：木村）
第 3 回	船橋市の地域包括ケアについて ゲストスピーカー：船橋市地域包括ケア推進課 課長
第 4 回	遺伝子と病気、生命倫理について考える；遺伝病、ダウン症、出生前診断について考える（担当教員：木村）
第 5 回	船橋市の地域包括ケアについて ゲストスピーカー：船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと 統括者
第 6 回	尊厳死と安楽死について考える；尊厳死と安楽死に対する日本と海外の考え方を紹介する（担当教員：木村）
第 7 回	地域医療機能とその推進 ゲストスピーカー：独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO） 理事（医療担当）
第 8 回	多剤耐性菌と医療関連感染症；標準予防策、感染経路別予防策などの重要性を理解する。最後に大学ビジョンと皆さんへの期待（担当教員：木村）